



《発行・編集》 No.153


医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院
ほうじゅ連携室
石川県能美市緑が丘 11-71
☎ (0761)51-5551 (代)



ほうじゅ 検索

2.15 平成29年度 小松・能美 KOMATSU NOMI 救急合同症例検討会

小松市消防本部、能美市消防本部、やわたメディカルセンターとともに、救急搬送の症例検討会を開催しました。救急医療現場における技術向上はもちろん、各機関の協力による地域の救急医療体制のさらなる強化を目的に、約80名が参加し、実際の搬送症例や仮想症例をもとに活発な意見交換を行いました。
(開催場所：やわたメディカルセンター 別館 5階多目的ホール)



Special thanks.
やわたメディカルセンター
救急部門委員会の
皆様に企画運営を
頂きました!

やわたメディカルセンター
琴野 巧裕 救急部門委員会委員長
(循環器内科)

第1部 症例検討会
 症例提供① 神田 利彦主任 (能美市消防本部) / 居軒 功先生 (やわたメディカルセンター)
 症例提供② 豊田 健吾消防士長 (小松市消防本部) / 琴野 巧裕先生 (やわたメディカルセンター)



Work together!!
当院からは
前々救急センター長を
中心に15名の職員が
参加しました!

芳珠記念病院
前多 力 救急センター長
(外科・消化器科)

第2部 グループワーク「救急隊のSOS！」
 寸劇：小松市消防本部 / 座長：琴野 巧裕先生 (やわたメディカルセンター)
 ★救急搬送の仮想症例の寸劇の後、どのような対応ができるか、6つのグループに別れて話し合いました。

乳がんを知ろう

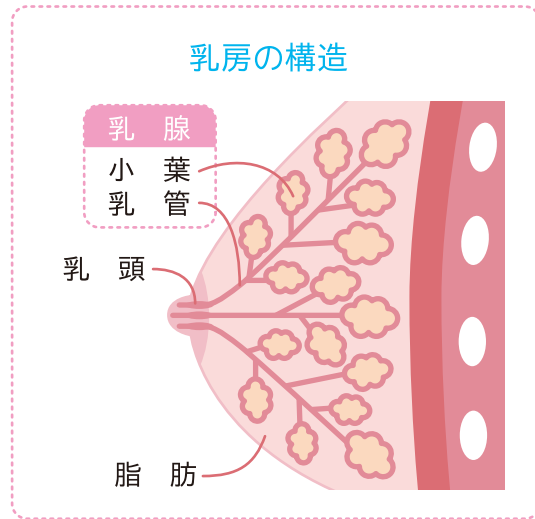
2人に1人が「がん」になる時代。思っている以上に身近な病気のはずですが、なんとなく「私は大丈夫…」と思っ
ていませんか? 今回、本誌を手にとって頂いたのを機会に、ぜひ「ジブンゴト」で考えてみてください。

「乳がん」てどんな病気なの?

「乳がん」は、乳房の乳腺にできる悪性腫瘍のことで、乳腺は、母乳をつくる「小葉」と、母乳を乳頭まで運ぶ「乳管」からなります。発生する場所によって「小葉がん」や「乳管がん」などに分けられます。初期の「乳がん」は、体調の変化を感じるような症状はありませんが、進行すると全身に転移し、命を脅かすこともあります。乳房などに下記のような変化がある場合は、注意が必要です。

注意したい乳房などの変化

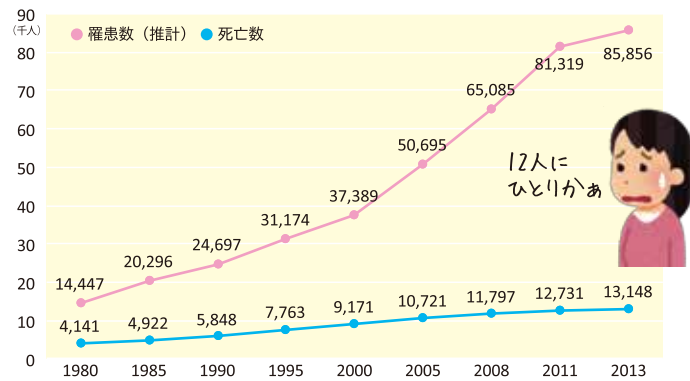
- 乳房 … しこり、ひきつれ、くぼみなどがある。
- 乳頭 … 分泌物が出る。ただれや陥没などがある。
- わきの下 … しこりなどがある。



「乳がん」は増えているの?

「乳がん」は、年々増加傾向にあります。日本人女性の部位別の「がん」で最も多く、12人にひとり、実に年間8万人以上が「乳がん」と診断されています。また、死亡率は5番目で、年間1万人以上の方が亡くなっています。

日本人の「乳がん」の罹患数と死亡者数



日本人の「がん」の罹患率と死亡率 (2013年、女性)

順位	罹患率	死亡率
1	乳房	大腸
2	大腸	肺
3	胃	膵臓
4	肺	胃
5	子宮	乳房

国立がん研究センターがん対策情報センター
「地域がん登録全国推計によるがん罹患データ」
「人口動態統計によるがん死亡データ」より引用

「乳がん」の原因ってなに?

「乳がん」の直接的な原因ははっきりしていませんが、統計的に危険因子がわかっています。また、日本人の「乳がん」は、他の部位の「がん」と比べて、40歳代など若い年代に多いという特徴があります。

「乳がん」の危険因子

- ・ 初経年齢が早い
- ・ 閉経年齢が遅い
- ・ 出産歴がない
- ・ 初産年齢が遅い
- ・ 授乳歴がない
- ・ 肥満
- ・ 飲酒
- ・ 喫煙

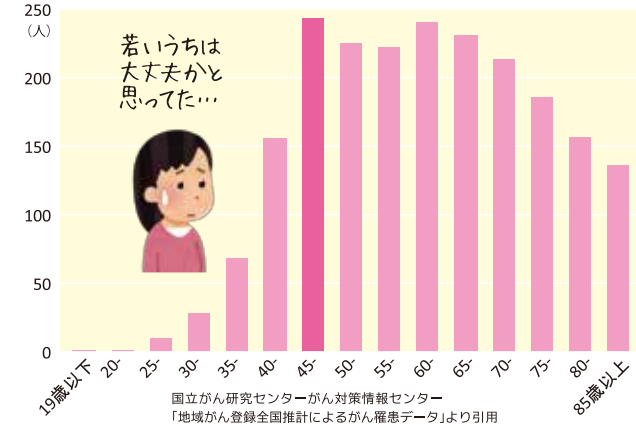
生活習慣に起因するものもあるんです。

「あ? やめどくか」

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 庄田陽子

国立がん研究センター、日本医師会のホームページを参考に作成

日本人の「乳がん」の年代別罹患数 (2013年、人口10万対)



「乳がん」も早期発見、治療が大切

「乳がん」が、乳房に限定(転移などが無い状態)して見つかった早期の場合、10年生存率は93%を超えるというデータがあります。また、手術が必要になった場合も、乳房を温存しながら少ない範囲の切除で「がん」を取り除くことができる可能性が高くなります。「乳がん」に限ったことはありませんが、早期発見、治療はとて大切ですよ。

「乳がん」を見つける主な方法

「乳がん」を見つける方法はいくつかありますが、今回は、自分で手軽にできる「自己検診法」と、「がん検診」の際などに医療機関で受けられる「マンモグラフィ検査」をご紹介します。

● 自己検診法

自分で乳房やリンパ節の状態を確認します。継続して行うことが望ましく、毎月1回、生理後5日ほど経過した時点で行うと効果的と言われています。閉経後の方は、実施日を決めて行いましょう。

目でチェック

鏡に向かい、力を抜いて自然に手を下げ、下記のようなポイントを確認。両腕を上げた状態でも同様に確認をしましょう。

CHECK POINT

- ・ 形や大きさの変化
- ・ 不自然なくぼみ
- ・ 乳頭のへこみ、ただれ など

手でチェック (左右行います)

仰向けになり、片方の手を頭の下に、もう一方の手の指をそろえて伸ばし、しこりがないか、滑らせるようにまんべんなく調べます。起き上がり、乳頭を軽くつまんで分泌物などがないか確認。指先をそろえてワキの下へ入れ、リンパ節のしこりなども調べましょう。

「乳がん」は自分で見つけられる可能性があります

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 安宅歩

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 由田麻美

● マンモグラフィ検査

乳房のX線検査で、小さなしこりや微細な石灰化など、視・触診でわからない早期の「がん」を発見することができます。40歳以上の女性に対して、2年に一度、マンモグラフィ検査を原則とした乳がん検診を実施するよう、厚生労働省の「市町村が実施するがん検診の指針」にも示されており、有効性が証明されている検査方法です。

マンモグラフィ検査は女性技師が担当します!

昨年12月に機器を更新。より精度の高い検査が可能になりました。

検査画像の例

視・触診ではわからない小さなしこり

正しく情報を得ることも大切

情報を得る方法は様々ですが、公的機関などが企画するイベントに参加するのもひとつです。例えば能美市では、行政と医師会が年に2回、「がん」に関する市民公開講座を開催し、予防から最新の治療まで幅広く学べる機会を提供しています。

正しく学べる機会を活用しましょう!

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 小林雅代

「ジブンゴト」ではじめてみましょう

「乳がん」は、早期に発見、治療すれば治る可能性が高いと言われていいます。早期発見に、特別なこと、難しいこと、お金がたくさんかかること…どれも必要ありません。生活習慣に少し気を付け、「自己検診法」を実践したり、「がん検診」を定期受診するだけでも効果があります。少しの意識で変えられる未来があるかもしれません。ご自身の健康について「ジブンゴト」で考えてみませんか? また、気になることがあれば遠慮なくご相談ください。

吉光 裕

副院長、ほうじゅく連携室室長
科目: 外科、消化器科、乳腺・内分泌外科
検診マンモグラフィ読影認定医師



彦 聖美先生

2/21 第32回看護研究発表会

当院の看護局に所属する看護師、介護福祉士など約200名を対象とした、看護研究発表会を開催しました。10演題の発表があり、発表者は、金城大学在宅看護学の彦教授のサポートのもと、1年間にわたり取り組んだ研究の成果を発表しました。

1/30 高橋先生院内特別講演会



高橋 泰先生

国際医療福祉大学大学院の高橋教授をお迎えし、院内講演会を開催しました。先生が考案された「イラストを用いた高齢者区分法(TAI: Typology of the Aged with Illustrations)」など、幅広い内容について講演をいただいた貴重な機会に、約80名の職員が参加しました。

1/16 米田教授就任記念講演会



米田 隆先生

当院、内分泌代謝内科非常勤医師である米田教授が、所属される金沢大学の教授に就任されたのを記念して、特別講演会を開催、約80名の職員が参加しました。「未来型医療と健康増進」と題し、AIやICTを活用した次世代医療の展望などについて、わかりやすく講演いただきました。

1/26 病モンスター講演会 in 辰口中央小



毎年恒例となった辰口中央小学校での「病モンスター」講演会を今年も開催しました。6年生児童約110名を対象に、白倉内科次長がオリジナルアニメーションなどを使用して講演。病気の進行がわかりにくい生活習慣病の怖さを伝えました。

2/22 肝疾患専門医療機関院内研修会



「石川県肝疾患専門医療機関」の施設要件である肝疾患に関する院内研修会を開催しました。「石川県肝炎診療連携とウイルス性肝炎の治療について」をテーマに、渡辺副院長が講義を行い、参加した約30名の職員が理解を深めました。

ほうじゅグループ

医療法人社団 和楽仁

- 芳珠記念病院
- 居宅介護支援事業所
- ほうじゅ訪問看護・リハステーション 緑が丘
- グループホーム 陽らら

社会福祉法人 陽翠水

- 介護老人保健施設 陽翠の里
- 訪問介護事業所 ビジットケアひすい
- 小規模多機能型居宅介護事業所 コミニケア 緑が丘
- 能美市辰口高齢者支援センター

信和商事株式会社

- 福祉用具貸与事業所 ライフケア 芳珠

ほうじゅグループのモットー「和楽仁」

仲よく楽しく 人と社会を健康に

芳珠記念病院の基本方針

1. 地域医療を担う病院として、当院に関わる皆様の生涯の健康を支えます。
2. 心のふれあいを大切にし、安心できるパートナーシップを築きます。
3. 利用される皆様の権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、参画できる医療を提供します。
4. 救命救急から慢性疾患まで、最新の科学的根拠に基づく、安全で的確なチーム医療を、多職種協働で提供します。
5. 地域との交流を大切に、社会保障の向上と経済の振興に取り組みます。

編集後記

2018年は、年始早々から雪雪雪…。1981年の「56豪雪」以来、37年ぶりの大雪となりました。雪国といわれる当地ですが、近年は降雪量が少なかったこともあり大混乱、診療体制や駐車スペースなど、ご不便をおかけしました。

雪がなくなる4月には、診療報酬・介護報酬同時改定という6年ぶりの大きなイベントが控えています。今年の冬同様、厳しい改定という声も聞かれますが、日本の未来に必要な変化ととらえ、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。

